



富士見丘だより

No.1 令和8年4月6日
昭島市立富士見丘小学校
校長 稲垣 達也

学校経営
基本方針

- 『居心地の良い学校』 学校は「安全」で「安心」できる場であること
- 『ワクワクする授業』 授業が楽しい、学校が大好き、学校に行きたい
- 『子供は未来の守護者』 Society5.0 時代を主体的に創造して生きる子

皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本日より、令和8年度がスタートいたしました。新しい年度を皆様と共に迎えられることに、大きな喜びと身の引き締まる思いを感じております。

本年度も、一人一人の良さが輝き、互いを認め合う温かな学校づくりを、教職員一同、心一つにして進めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

誰もが笑顔で過ごす「垣根のない学校」をめざして

令和7年度の実践から

「学年担任制」⇒「協働担任制」へ進化しています

子供たちは、これからの社会を担い、未来を切り拓いていく存在「未来の守護者」です。そして学校は、子供たちが安心して学び、仲間と共に成長し、自らの可能性を信じて歩いていく「未来から託された場」です。本校は「垣根のない学校」をめざし、これまで培ってきた教育の土台を大切にしながら、時代の変化に応じた新たな学校体制の在り方『協働担任制』を実践して参ります（学年担任制から名称変更）。⇒今年度の具体は、後日お知らせします。

協働の効果

子供の安心感

教員全員で支える

どの教員にも相談できる垣根のない学校

指導の質の向上

教員の強みを結集

授業力・指導力の相互補完と負担軽減

情報共有の充実

複眼的な児童理解

子供の良さを複数の視点で多面的に把握

学校組織の成長

統一指導と文化継承

経験や知恵を共有し互いに学び合う文化

協働の実際

学年担任全員で指導する教科を分担し、1人の教員が学年全学級の教科を担当し、全員で学習の指導に責任を持つ

学習指導

学級経営

学習集団

特別支援

算数や生活科、探究学習等は、学年段階や学習内容に応じて、学年合同で、習熟度やテーマによって学習集団を編成

特別支援学級と交流給食や体育、生活科、探究学習、特別活動などの交流及び共同学習を推進

協働を支える基盤

信頼（任せる・頼る）

互いの強みや専門性を尊重し、「任せる」「頼る」ことを肯定的に捉える

共有（目的・価値観）

「連絡」「相談」「記録」の質を高め、「情報」「目的」「価値観」をそろえる

対話（違いを尊重）

違いを尊重し、建設的に意見を交わす、子供の姿を中心に据えた話し合い

本校における『協働担任制』は、「複数の教員が、互いの強みを生かしながら、子供の最善の利益のために力を合わせることを指します。単なる分業ではなく、互いの視点を尊重し、情報を共有し、補い合いながら、一人ではできない成果を生み出すという、より深い関係性を含んだ学校体制の構築です。